

真下慶治記念美術館 (東北地区)



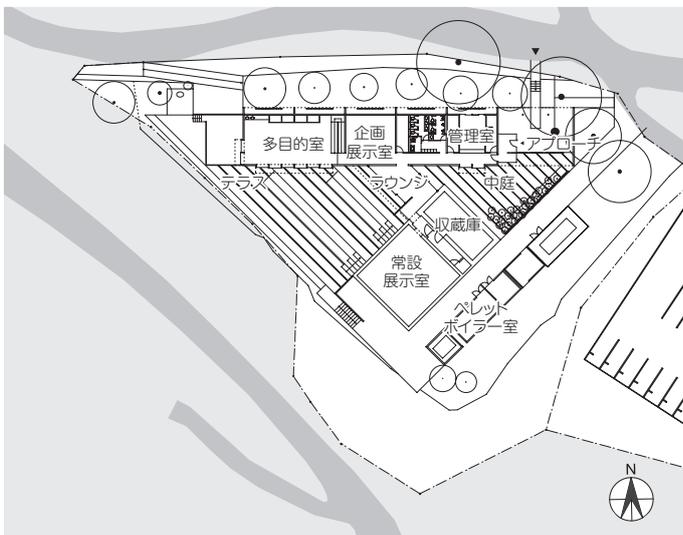
テラスから常設展示室とラウンジ，多目的室を望む

所在地 : 山形県村山市大字大淀
1084-1
敷地面積 : 2,755.00 m²
建築面積 : 707.00 m²
延床面積 : 560.42 m²
構造・階数 : W造 RC造 一部S造
地上1階
事業者 : 村山市
設計者 : (株)計画・設計工房
施工者 : (株)矢萩工務店
竣工年月 : 平成16年10月
総工事費 : 192百万円



企画展示室

施設は、真下画伯がテーマとされた最上川を一望できる丘の中腹、尋常小学校跡地に建設され、理想的なロケーションである。敷地内の桜を全て残し、林野庁の補助事業を活用し、主たる建物を木造、市産材木材の活用など、作品と立地、建物が素晴らしく調和している。建物は小規模ながら、最上川を見下ろすテラス、各種イベントが行われる多目的室、絵画の常設展示室など、各々が求められる最良の空間を造り上げている。屋根が同じ張弦梁の構造でありながら、施設の奥に向かうと空間の断面が変化する展開も興味深い。現在は産出されない地元の楢山石を市民に呼びかけ拠出して貰い加工、テラスや玄関のアプローチに使用し、市産材の杉を外壁に活用するなど地元の文化を良く表出している。絵画の展示にとどまらず各種イベントが企画され、屋外テラスは、地元住民の集いの場となっており、地元住民に愛されている施設として評価される。



平面図